

# 強い農業づくり総合支援事業の取組事例

(平成26年度:事業実施主体:(農)秋田市北部地区カントリーエレベーター利用組合) (秋田県)

## 取組の概要

対象作物 : 稲、大豆  
利用面積 : 505ha(稲:425ha、大豆:80ha)

成果目標1:米の下位等級指数を60.9%削減  
基準(平成25年度) 12.8%  
目標(平成28年度) 5.0%

成果目標2:大豆の単収を29.5%増加  
基準(平成25年度) 139kg/10a  
目標(平成28年度) 180kg/10a

導入施設 : 穀類乾燥調製貯蔵施設



秋田県秋田市北部地区



## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

- 乾燥調製作業を施設で請け負うことにより、農家の大幅な省力化が図られ、実施地区の農繁期において野菜出荷量が増加
- 一部実施地区内において基盤整備を実施していることから、大豆を含め園芸品目拡大を目指す
- 水稻の品質が個人毎でバラツキがみられる

### 【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- 区域内の法人をはじめとした組織と連携を図り利用調整
- 色彩選別機により全量選別
- 乾燥調製施設の整備により効率的な乾燥調製を行い、良質な大豆出荷

## 推進体制

・秋田県  
・秋田市  
・全農  
・JA

指導・助言  
報告

(農)秋田市北部  
地区カントリーエ  
レベーター利用  
組合

経営  
栽培技術  
販売関係

## 地域における独自の取組

- ①カントリー利用者はケイ酸質肥料の散布が必須条件とし、土づくりを推進
- ②籾摺り作業後の籾殻を近隣の基盤整備事業者へ販売し有効利用

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

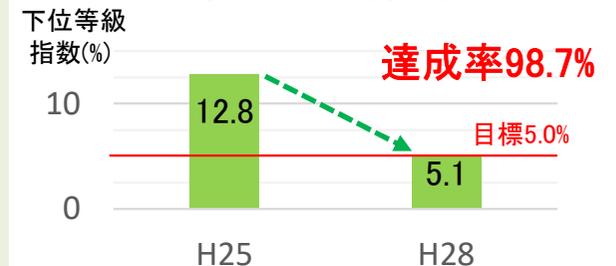
- 施設整備による米の高品質化
- 適期の収穫・乾燥調製が可能となり、大豆の単収・品質が向上
- 出荷作業の省力化により、枝豆等の他品目へ取り組む生産者が増加

### 【事業実施による間接効果】

- 地域内雇用の創出
- 高齢農家でも出荷が可能となり、余剰労力を他品目・作業へ活用

生産者の所得向上

## 下位等級指数



## 大豆単収

